

環境報告書

2018 年度

(2018 年 4 月～2019 年 3 月)

2019 年 6 月 1 日

有限会社いせ梅田

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 有限会社いせ梅田
- (2) 代表社名 代表取締役 梅田 茂樹
- (3) 所在地 事務所、ヤード及び倉庫(中間処理施設)
三重県伊勢市小俣町元町1571番地
- (4) 事業内容 古紙等のリサイクル・販売、一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物の収集運搬業、廃プラスチック中間処理業
- (5) 資本金 400万円
- (6) 事業規模
売上高 417,585,923円
従業員数 30名(パートタイマー2名、派遣社員1名を含む)
敷地面積 5,200.00㎡
延床面積 1,603.87㎡
内訳：事務所 一階 38.55㎡、2階 36.00㎡、計 74.55㎡
ヤード 832.52㎡ 西倉庫 696.80㎡
中間処理施設 832.52㎡
- (7) 沿革
昭和51年6月1日 有限会社いせ梅田 設立
昭和62年4月12日 有限会社いせ梅田 社名変更
平成5年2月26日 三重県廃棄物再生事業取得
平成12年7月14日 三重県一般廃棄物処理施設設置取得
平成15年7月28日 三重県産業廃棄物収集運搬業取得
平成15年8月20日 三重県産業廃棄物処分業取得
平成27年3月1日 M-EMSステップ 2W 活動開始

(8) 許認可一覧と処理能力

許可の内容	事業の内容と能力	有効期限	許可行政
廃棄物再生事業 廃対第12-2号	古紙の再生	平成5年2月26日～	三重県
一般廃棄物処理施設設置 11 勢生第2-46-5号	施設の種類：ゴミ処理施設(選別・圧縮施設) 処理する一般廃棄物の種類：古紙(紙製容器包装)	平成12年7月14日～	三重県
産業廃棄物処分業 第02427055065号	中間処理 破碎：廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を除く)(水銀使用製品産業廃棄物を除く)3.44t/日(8h) 圧縮・梱包：廃プラスチック(石綿含有産業廃棄物を除く)(水銀使用製品産業廃棄物を除く)76t/日(8h)	平成30年10月16日 ～平成35年8月19日	三重県
産業廃棄物収集運搬業 第02407055065号	事業範囲(積替え・保管を除く) 廃プラスチック類(石綿含有産業廃棄物を含む)、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を含む)、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む) 以上7種	平成30年9月19日 ～平成35年7月27日	三重県
一般廃棄物収集運搬業	事業系一般廃棄物	平成30年4月19日 ～平成32年4月18日	伊勢市
一般廃棄物処理業 平成30年度12号	事業所の一般廃棄物で特別管理一般廃棄物は除く	平成30年4月1日 ～平成32年3月31日	明和町

一般廃棄物処理業	一般廃棄物	平成 30 年 4 月 1 日 ～平成 32 年 3 月 31 日	鳥羽市
一般廃棄物処理業	多量一般廃棄物(ゴミ)収集運搬	平成 30 年 4 月 1 日 ～平成 32 年 3 月 31 日	玉城町
一般廃棄物収集運搬業	事業系、一般家庭の一般廃棄物、 紙ごみ、廃プラ、布屑、木屑	平成 30 年 2 月 6 日 ～平成 32 年 2 月 5 日	志摩市

(9)取扱い産業廃棄物（事業規模）

廃棄物の種類	収集運搬	中間処理 (処理内容：破砕、選別、溶融等)
産業廃棄物	廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、金属くず、ガラスくず等、 がれき類	廃プラスチック：破砕、圧縮、梱包
特別管理産業廃棄物	なし	なし

①産業廃棄物運搬車両（施設）の種類（車両形式・積載量）と数量（台数）

・収集運搬実績

	単位	2016 年度	2017 年度	2018 年度
廃棄物運搬量	t	772.4	604.5	545.8

・運搬車両の種類(車両形式・先載量)と台数

運搬車両一覧				
	自動車登録番号	車両名称	最大積載量(kg)	備考
1	三重 800 せ 1069	塵芥車	1600	継
2	三重 800 せ 576	塵芥車	1850	継
3	三重 100 は 6028	バン	3950	継
4	三重 800 は 1983	塵芥車	3200	継
5	三重 800 は 1789	塵芥車	5800	継
6	三重 100 せ 4091	バン	900	継
7	三重 800 は 1713	塵芥車	3750	継
8	三重 100 せ 3270	キャブオーバー	3750	継
9	三重 480 さ 289	キャブオーバー	350	継
10	三重 100 せ 504	キャブオーバー	3800	継
11	三重 400 と 6193	バン	600	継
12	三重 100 さ 8620	バン	2000	継

13	三重 800 す 3316	塵芥車	2500	継
14	三重 800 さ 3227	塵芥車	1950	継
15	三重 800 す 1377	塵芥車	1700	継
16	三重 800 す 2508	塵芥車	1700	継
17	三重 800 す 661	塵芥車	1950	継
18	三重 800 す 5266	塵芥車	1150	継
19	三重 800 す 4318	塵芥車	1150	継
20	三重 800 す 4419	塵芥車	1200	継
21	三重 88 ま 3310	塵芥車	2300	継
22	三重 800 す 4048	塵芥車	1550	継
23	三重 800 す 3514	塵芥車	1600	継
24	三重 100 は 2004	脱着装置付コンテナ専用車	5200	継
25	三重 100 は 1104	脱着装置付コンテナ専用車	5200	継
26	三重 100 は 1109	脱着装置付コンテナ専用者	8000	継
27	三重 400 つ 8036	キャブオーバー	3000	継
28	三重 100 は 5535	バン	13600	継

・積替え保管施設 なし

②中間処理施設の種類の種類及び処理能力

・処理施設

プレス機（渡辺鉄工株式会社 ラージベール LBP-1811-150FW）

リフト（TOYOTA GFD25, 50-8FD30 2台, 02-8FD25）

（SHINKO 8FBR15）

破砕機（ナカバヤシ KK-XZU340M 移動式）

・処理能力

圧縮・梱包（76 t / 8 h） 許可品目 廃プラスチック

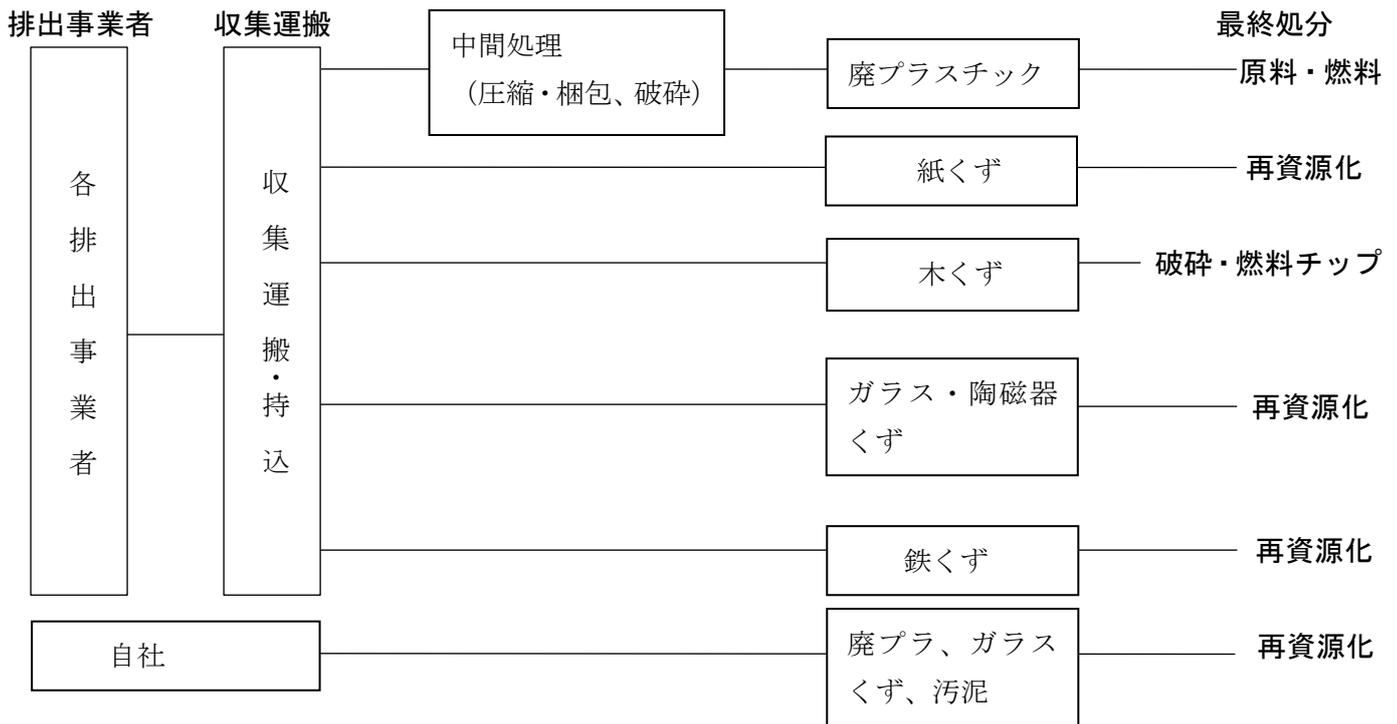
破砕（3.44 t / 8 h） 許可品目 廃プラスチック

・処理実績

処理実績	単位	2016年度	2017年度	2018年度
中間処理量	t	265.0	263.0	363.8

処理工程図

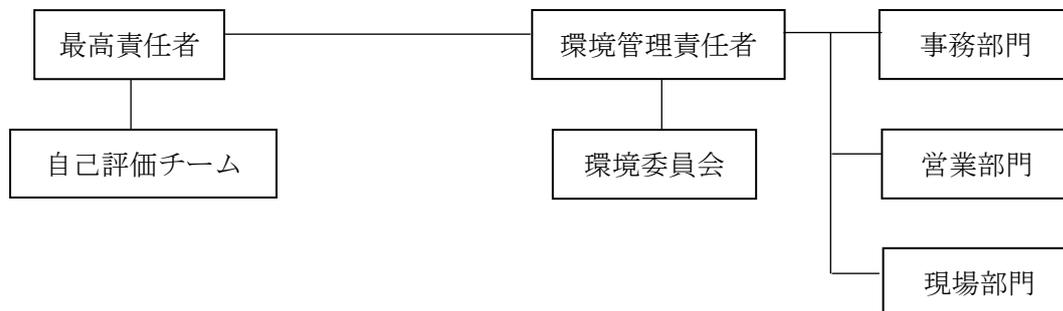
処理工程図の概略フロー



(10) 廃棄物の処理料金

運搬距離、廃棄物内容、回収形態等により、都度見積りを行う。

(11) 環境活動の取り組み体制



・ 環境管理責任者 宮崎浩一

・ 連絡担当者 坂口朋広

T E L 0596-25-9780 F A X 0596-25-9779

2. 登録対象

(1) 登録内容

M-EMS 登録証

登録日：2016年8月1日

登録期限：2019年7月31日

登録番号：M-EM2W-0009 KES2W-5-0009

(2) 登録範囲

産業廃棄物収集運搬、一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物処分（中間処理）

(3) 対象事業所

事務所及び中間処理施設：三重県伊勢市小俣町元町 1571

環 境 宣 言

基本理念

有限会社いせ梅田は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全組織を挙げて環境負荷の改善に努力します。

方 針

有限会社いせ梅田は、古紙等のリサイクル・販売、収集運搬業、廃プラスチック中間処理業に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境負荷を改善するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
なお環境保護には、接続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への対応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

- (1) 軽油燃費の向上
- (2) 電気使用量の削減
- (3) 水道使用量の削減
- (4) 古紙の回収量の向上
- (5) 啓発活動

4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知すると共に一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県及び伊勢市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、環境改善目標を制定し、定期的に見直し環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2015年3月1日
改定日 2017年3月1日

有限会社いせ梅田
代表取締役社長 梅田 茂樹

4. 環境改善目標値（2018年度）

（1）過去3年間の環境負荷の実績

No.	項目	単位	2016年	2017年	2018年
1	電気使用量	kWh	135,722	121,584	143,460
	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	74,782	66,992	79,046
2	軽油使用量	ℓ	189,883	189,645	188,571
	CO ₂ 排出量	kg-CO ₂	496,363	498,898	486,513
3	CO ₂ 排出量（電力+軽油）	kg-CO ₂	573,680	556,276	565,559
4	水使用量	m ³	319	299	285
5	グリーン購入	品	1	1	1

注）排出係数：電力 0.551 kg-CO₂/kwh、軽油 2.58 kg-CO₂/ℓ（出典：2014年（H26年）環境省）

・化学物質の使用はありません。

（2）中期環境改善目標（2017～2019年度）

（基準年度：2016年度）

No.	環境改善目標 (2017年度～2019年度)		単位	2016年度 (基準年 度)実績	目標値			
					2017年度	2018年度	2019年度	
1	軽油燃費の向上 (2019年度：3%向上)	平均燃費	km/ℓ	3.99	向上率	1%増	2%増	3%増
					目標	4.02	4.06	4.10
					実績	4.00	4.06	
2	電気使用量の削減 (2019年度：3%削減)	年間使用量	kWh	135,722	削減率	1%減	2%減	3%減
					目標	134,365	133,008	131,650
					実績	134,006	143,460	
3	水道使用量の削減 (2019年度：3%削減)	年間使用量	m ³	319	削減率	1%減	2%減	3%減
					目標	315.8	312.6	309.4
					実績	292.0	285.0	
4	古紙の回収量の向上 (2019年度：3%向上)	回収量	kg	17,417,595	向上率	1%増	2%増	3%増
					目標	17,591,771	17,765,947	17,940,123
					実績	17,921,023	17,285,018	
5	会社周辺の清掃 (月1回)	清掃回数	回	12	目標	12	12	12
					実績	12	12	

・化学物質は、使用実績はありませんので、環境改善目標には取り上げていません。

5. 環境改善目標と実績

2018年度の環境改善目標及び改善活動計画並びに実績

No	環境改善目標	具体的施策	項目	単位	目標値	実績	評価
1	軽油燃費の向上	アイドリングストップ 急発進・急ブレーキ抑制 回収コースの効率化	軽油燃費	Km/l	4.06	4.06	A
2	電気使用量の削減	こまめなON, OFF 使用時間への意識	使用量	kWh	133,008	143,460	B
3	水道使用量の削減	使用時間の短縮 水量への意識	使用量	m ³	312.6	285.0	A
4	古紙回収量の向上	リサイクル化の意識向上 回収砂金強化 新規開拓	回収量	kg	17,765,947	17,285,018	B
5	会社内外清掃	清掃意識の向上	回数	回	12	12	A

評価記号 A : 100%以上 B : 90~100% C : 90%以下

※2018年度維持管理項目の実績

No	管理項目	単位	2017年	2018年	増減
1	電気使用量	kWh	134,006	143,460	9,454
	CO2 排出量	kg-CO2	73,837	79,046	5,209
2	CO2 総排出量 (電気+軽油)	kg-CO2	537,788	565,559	27,771
3	水使用量	m ³	292.0	285.0	-7
4	中間処理 (廃プラ) リサイクル率	%	98.8	100	1.2
5	エコ商品の購入	品	1	1	0

5-1 具体的環境活動の評価

- ・電気使用量の削減、古紙回収量の向上が目標を達成できなかった。
- ・軽油燃費の向上では、エコドライブに努めるとともに定期的なメンテナンスの実施等により目標の達成をすることが出来た。
- ・水使用量の削減については、各自節水を心掛けるようになり目標の達成となることが出来た。

5-2 次年度の活動について及び今後の課題

- ・中長期改善計画の最終年度になるので、今後更に教育等の徹底や営業活動の推進により目標達成に努める。

6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に適用を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果違反はなかった。

尚、関係機関等からの指摘及び苦情・訴訟は3年間ありません。

7. 最高責任者による全体の評価見直し結果

(1)全体評価

システムの構築は、全般的にスムーズに運用され、現時点で見直す点はない。2019年度もこの

システムを継続し、環境負荷低減に向けて推進すること。

(2)見直し評価

環境宣言、環境改善目標の変更必要性：なし

環境経営システム等の変更必要性：なし

8. コミュニケーション

近くの小学校の授業（20名）の一環で、会社訪問があり、施設の案内及び説明をしました。

以上